

2024年11月1日  
第581号  
(毎月1日発行)

咲いたネット  
URL：  
http://www.saitanet.or.jp  
Eメール：  
saita@saitanet.or.jp



発行所  
埼玉県労働組合連合会  
〒330-0063  
埼玉県さいたま市浦和高砂  
3-10-11 第一木村ビル  
TEL 048-838-0771  
FAX 048-838-0775  
編集発行人  
埼玉県労働組合連合会  
【定価】1部50円  
(組合員の購読料は組合費に含む)

埼玉土建会館に58人が参加



講師の布施事務局次長



次世代の結集にむけて討論  
埼労連なかま増やし交流集会

埼労連なかま増やし交流集会が9月28日(土)午前10時から埼玉土建本部会館で開催され、13単産14地域組織、埼労連事務局などを含め58人が参加しました。

埼労連大会で確定した第8期組織拡大中期計画実践1年目の取り組みについて、講演と分散会に分かれての活発な討論が行われました。

藤田新議長のあいさつに続き、全労連の布施事務局次長が「全国の組織拡大の

豊かな経験と教訓を全労連の『対話と学びあい』を基礎に」をテーマに報告しました。

全国の取り組みの紹介では、数人から数十人に仲間を増やして要求を実現してきた経験が多く語られ、「対話と学びあい」「組合員一人ひとりの力を引き出す」などの教訓が話されました。

多くの仲間から「要求を実現するため仲間を増やす」「対話と人間関係づく

りを進める」大切さが語られました。布施さんの報告の後、実務事務局次長から第8期組織拡大中期計画について報告があり、①職場の核づくりと地域組織単位での労働学校(全労連わくわく講座)の開催、②すべての地域で労働相談の体制づくり、③県内で協力・共同する民主団体、青年団体との関係づくりからの組織化という骨格を報告しました。続いて自治労連本部と深谷寄居地労連から「小さな集まりでの対話からの人間関係づくり」「次世代の当事者が企画・運営する取り組み」などの大切さについて事例報告がありました。

(4面につづく)



各組織の拡大グッズを展示

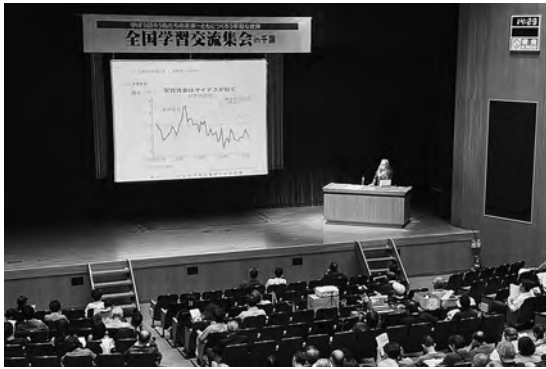
\*紙面から\*

- なかま増やし交流集会 (1面・4面)
- 地域のボウリング交流 (5面)
- 全国学習交流集会 (2面)
- 県労働委員会の紹介 (7面)
- 大野知事と懇談 (4面)
- 埼労共のページ (8面)

# 6年ぶりの開催に全国から350人 全国学習交流会 in 千葉

労働者教育協会主催の「全国学習交流会」が10月12日(土)〜13日(日)に、6年ぶりに開催されました。

『学ぼう 語ろう 私たちの未来』とともにつくる「平和な世界」をテーマに、テレビでもおなじみのフォトジャーナリスト安田菜津紀さんの記念講演「紛争地、被災地に生きる人々の声」取材から見えてきたこと、学習講演では明海大准教授で千葉県学習協会長の宮崎礼二さんが「今日における



全国から350人



安田さん

アメリカと日本の経済の行方、学習教育運動の役割」を全体で学びました。このほか、フィールドワークや青年企画を含む8つの分科会と勤通大の公開スクーリングと知ることの楽しさがあふれた学習教育イベントで全国から350人が参加しました。

安田さんは、自身の意思で行動し、写真と言葉で伝えるフォトジャーナリストとして、常に人々の暮らしに視点をあて、あたりまえの暮らしが奪われたガザ地区、シリア、陸前高田の惨状を紹介し、どんな未来を手渡していけるのか「愛」にあふれたユーモアと感情豊かな語りで参加者を引きつけました。そして「恩返しだけではなく、恩送りの連鎖」を広げ、平和で豊かな社会を築こうというメッセージが伝わる講演でした。



宮崎さん

宮崎さんは、労働組合の再起とバージョンアップをアメリカの経験から学び、労働組合運動の展望ある実践のヒントを探ると問題提起を行い、現在の経済状況、トリクルダウン幻想と強欲インフレが格差と貧困の元凶であることを指摘し、そのうえでアメリカ労働運動の再生が大幅賃上げを実現させているのを伝え、「学習を通じて労働組合の要求実現が社会的問題の解決と同じ方向性にあることを認識し、自信をもった組合活動を実践することが求められる。そのためには学習によって事実を知ることが重要である」ことを強調されました。

なお、埼玉からは10団体20人(埼玉土建、埼教組、医労連、さいたま地区労、自治労連、コープネット、私教連、学習会議、食健連、民青同盟、埼労連)が参加しました。

構想案は「引き続き物価の高騰に充分に対応でき、普通に生活できる賃金水準にすることが必要。特に、非正規労働者や、差別的な低賃金に置かれている女性の賃上げを重視する」との考え方を示しました。

そのうえで、今年の統一要求は24春闘アンケートの回答などを根

## 25春闘勝利・平和な社会めざし 国民春闘共闘年次総会

全労連や純中立労組でつくる国民春闘共闘委員会は、10月18日にラパスホールで総会を開き、2025国民春闘方針構想案を提案しました。

提案では、「全国一律最低賃金制度と最低賃金1500円以上の実現」「労働時間の短縮」「ジェンダー平等推進」などに重点を置き、低賃金や格差に苦しむ当事者を組合に迎え入れながら、ストを構えて要求・交渉する取り組みを呼び掛けました。

黒澤事務局長は、「24春闘以上にストライキ権を力に、労働組合の力を実感できる春闘に」と訴えました。

「納得できる回答を引き出すまでは妥協しない」という構えで、上積みを図るまで全力をあげる」ことも呼び掛けています。

男女間賃金格差の是正も春闘期の課題として、25国民春闘を非正規春闘として位置づけ、ジェンダー平等推進もすすめていくことが提案されました。

埼玉連・埼玉春闘共闘からは、藤田議長、宍戸事務局長(オンライン)、加藤幹事(オンライン)が参加しました。

抛に、底上げに重点を置き、月3万円(10%)以上、時給200円以上引き上げと、どこでも時給1500円以上、月額では22万5千円以上の企業内最低賃金の協定締結を提案しました。

方針で特に強調したのが、低賃金や格差に苦しむ当事者に、春闘の要求づくりや交渉、行動に参加してもらおうことで、組織化の展望を図りたいとしています。

また、全ての組合が実力行使(ストライキ)を背景に交渉し



# 核のない平和な社会の実現へ 日本被団協がノーベル平和賞

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受けたことについて全労連などが談話や声明を公表しています。平和の取り組みの確信を高めるため、仲間の確信にしていけます。

## 【全労連談話】

日本被団協のノーベル平和賞受賞を受け、全労連は10月18日、「受賞を心から歓迎し、被爆者のみなさんに心からの祝福を送る」とする黒澤幸一事務局長の談話を発表しました。

## 談話では、「被爆者と原水爆禁

止の運動が核戦争を回避する役割を果たした」とし、ロシアやイスラエルが核兵器使用の脅迫を行うという危機的状況だと指摘。「全ての核保有国に核兵器廃絶を要求する。そして、米国の核の傘のもと核抑止力論に依存する日本政府に対しては、核兵器禁止条約に参加し、核兵器のない世界のためにイニシアチブを發揮することを求める」と日本政府の決断を求めています。そして、「人間らしく生きることも死ぬことも許されない核兵器の非人道性を訴え

てきた被爆者とともに、被爆の実相を広げ、核兵器廃絶の世論を強め、核兵器のない平和で公正な社会をめざす」とまとめています。

## 【原水禁声明】

原水爆禁止日本国民会議（原水禁）は10月12日、日本被団協のノーベル平和賞受賞について、「心より敬意を表し、受賞を喜ぶ」と声明を公表しました。声明では「被爆者の思いを真に受け止めるのであれば、ヒロシマ・ナガサキを経験した日本こそが、今すぐ核兵器禁止条約に署名・批准すべき」と主張し、全ての被爆者の救済を求めています。

核を所有することにより戦争の回避を図る「核抑止論」の強まりや、核保有国による核兵器使用の威嚇が行われている世界の動向について、「核が存在する限り、核兵器使用のリスクは永遠になくならない」と批判し、被爆者の運動の原点は、非人道的な核兵器が使われたことによる「被爆の実相」であり、「今こそ世界はそこに向き合い、学び、核兵器使用が迫る危機的状況乗り越えていかななくてはならない」と述べています。

事務局長談話

### 日本被団協のノーベル平和賞受賞を心から歓迎する

2024年10月18日  
全国労働組合総連合会  
事務局長 黒澤幸一

ノルウェーのノーベル平和賞の選考委員会は、10月11日に日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）に2024年のノーベル平和賞を授与することを発表しました。全労連は日本被団協の受賞を心から歓迎し、すべての被爆者のみなさんに心からの祝福を送ります。

選考委員会は、日本被団協の授賞理由について「被爆者のみなさんが体験を語ることで核兵器の使用の警告を発し、世界中で反対する声を広げるのに貢献してきた」とし、日本と世界での長年にわたる核兵器廃絶運動における被爆者の貢献を高く評価しました。

核保有国が核兵器の近代化と改良を進め、新たな国々が核兵器の保有を準備し、現在起きている紛争で核兵器使用が脅しに使われていることを憂慮し、米年が被ばく80年になることに触れながら「いまの核兵器ははるかに強力な破壊力がある。何百万人もの人々を殺害し、気候にも壊滅的な影響を及ぼす可能性がある。核戦争は私たちの文明を破壊するおそれもある」と警鐘を鳴らしました。

日本被団協をはじめとする被爆者の運動と原水爆禁止運動は、これまで核兵器による人類滅亡の危機を回避し、核兵器の廃絶と恒久平和、被爆者の援護を目的にともに運動を進めてきました。被爆者の組合員の先鞭をはじめ、被爆者の方の証言と運動は私たちの取り組みの力でした。唯一の戦争被爆国労働組合運動として原水爆禁止運動の一翼を担い、日本と世界の労働運動の中で核兵器廃絶の声が広がる運動を進めてきた全労連は、今回のノーベル賞受賞を歓迎します。

核兵器禁止条約が禁止している核兵器の脅迫をロシアやイスラエルなどが公然と行っており、核兵器使用をめぐらない危機的状況と云われます。全労連はすべての核保有国に核兵器廃絶を要求します。そして米国の核の傘のもと核抑止力論に依存する日本政府に、核兵器禁止条約に参加し、核兵器のない世界のためにイニシアチブを發揮することを求めます。人間らしく生きることも、死ぬことも許さない核兵器の非人道性を訴えてきた被爆者とともに、全労連はヒロシマ・ナガサキの被爆の実相を広げ、核兵器廃絶の世論を強化し、核兵器のない平和で公正な社会を目指し運動を進めます。

(以上)

# 青年の結集で組合を元気に 全労連青年部第37回大会

全労連青年部は9月28日、29日に第37回定期大会を全労連会館で開催し、19組織、52人が参加しました。

執行部を代表したあいさつで、吉原太一郎部長は、「勝ち取った青年層の賃上げは労働組合の成果であることを伝えよう」と力強く訴えました。

新年度方針を提案した稲葉美奈子書記長は、「誰もが働きやすい環境をつくるために、労働にかかっている時間をへらす議論を始めよう」と呼びかけました。

さらに来年2月に全労連青年部



青年部を強く大きく

全労連会館に52人が参加



が企画する『沖縄ピースツアー』の成功に向けて大会参加者にアピールしました。

全体討論では、青年協の解散後「単産をこえた青年同士の交流は必要だ」とわずか4カ月で再建させた北海道や、石川からは能登地震の被災状況、医労連や京都からは青年の最低賃金引き上げの取り組み報告など14人が発言し、採決ではすべての議案が満場一致で可決されました。

埼玉労働青年委員会からは、加藤書記長が代議員として2日間通しで参加しました。

# なかま増やし交流集会(1面つづき)

全大会の後、午後は7分散会に分かれて、討論を行いました。

組織を強く大きくするために職場で核となる組合活動家を育てる必要があり、そのために学習が必要だが、次世代の家族ぐるみの楽しい経験、同世代とのつながりをどうつくっていくかを自由闊達に話し合いました。

今回は、ポストイットを使って意見を出し合い、実践の道筋などを探り合いました。

参加者の感想では「本音で話せる場をつくる、交渉の場など運動



各分散会の様子



各分散会の様子

・活動の場に役員が若い人を連れて参加するのはいい取り組みだと感じた」、「ミニ学習会などを重ねながら仲間の結集を高め、人間関係・つながりを深める作業も同時並行で進め、学習会の成功をめざしたい」、「小さな集団、暮らして役立つが大事。分散会は楽しかったです」、「どの組合も若い人や核の掘り起こしが大変だとわかった。さまざまなイベントをして交流すると、そのイベントのなかから若い人だったり、核になる人が現れることがわかった。地域組織が『ほっとする場所、仕事から解放される場所』になっている



各分散会の様子



各分散会の様子

と聞いて、自分の地域でもそのような場所になればと思えます」、「新しい手法の討論は県段階や支部でも活用したい」など、職場での核づくりと次世代結集に向けた積極的な感想が多く寄せられました。

## 暮らしやすい埼玉県をめざして

## 大野知事と懇談

埼玉労連は、9月20日(金)の午前、埼玉県庁の知事室で大野元裕・埼玉県知事と懇談をしました。大会が終わり、新年度役員を代表し表敬訪問したもので、藤田議長、宍戸事務局長、諸井事務局次長が参加しました。

意見交換の中で藤田議長から、この間の埼玉労連の運動への理解と旗開きなどへの参加について、大野県政の努力に敬意を表し、引き続き県内の労働者施策に対して賃金水準へしていくことと最低賃金の格差是正について要請・意見交換しました。

またこの間、埼玉労連で進めてきた最低賃金や公契約適正化の取り組みについて報告し、人手不足の深刻化に対応すべく、労働者の雇



知事と懇談



用の安定、労働条件の向上に向け、埼玉労連も県とともに奮闘していくことを話しました。埼玉労連は昨年の県知事選挙では自主投票としましたが、県政課題に対しては、県民・労働者要求を基本に「是々非々」で対応していくことを確認しています。懇談を通じて、あらためて、各加盟組合でも要求を持ち込み、県政運営に県民の立場から参加していくことの大切さが浮き彫りになりました。当面11月には、県政要求行動が予定されています。



# 久しぶりのボウリングで仲間と交流 蕨地区労協

蕨地区労は9月22日(日)に、ボウリングと交流会をしました。ボウリングは北町のラウンドワンを5レーン予約し、18人が参加し熱戦を展開しました。なかには「50年振りだわ」の方が。その一方でマイボウル・マイシューズの方も。往年の技も年には勝てず、悪戦苦闘の方も。その傍ら、ストライク・スペアを重ねる人も…。2ゲームを2時間かけて競い、ケガもなく無事終了し、表彰式に。表彰は、トップ賞として埼玉土建の肝付さん、「久しぶりに頑張ったで賞」に年金者組合の堀内さんと加藤さんに記念品が贈られました。



真剣にプレー



会場を移して交流

続いて会場を埼玉土建蕨センターに移し、ボウリングの反省と交流会を行いました。これには21人が参加しました。

肝付書記長の乾杯の音頭で開会。佐藤議長から、「こうして楽しい企画を取り組み、新しい仲間を迎えよう」とあいさつ。ビールその他に鹿兒島のイモ焼酎の差し入れもあり、オードブルを口に暫し歓談・交流。最後に参加団体、参加者の報告や感想の声をもらい、散会しました。

(蕨地区労発)

# 次世代の参加で楽しく交流 草加八潮地区労

草加八潮地区労のボウリング交流会が10月5日(土)午後4時から、松原スターボウルで開催され、地区労役員を含め5組織から40人が参加しました。

この行事は、組合交流と次世代参加を目的に、当初8月31日



マイボウルの参加者も

(土)に開催予定でしたが、台風接近の影響により10月5日に延期していたものです。

ボウリングは、各組合員を混成にして、4人編成で8チームつくり、個人戦と対抗戦にしました。混成チームなのでふだん顔を合わせている人同士ではないのですが、プレーをしながらお互い拍手をしたり、声を出し合うなど、和んでいき、楽しいゲームができました。個人賞は、1、2、3位とブービー賞に賞品を出し、対抗戦は1位のみに賞を出しました。1位は年金者組合の方でした。ボウリングの後は、会場を移して夕食交流会でした。学童労組から参加の若い仲間が、JAL支援



参加者で記念写真

物資を賞品にし、交流会でのゲームを担当し、イントロゲームやアニメビンゴゲームで盛り上げてくれました。ここでも、ボウリングの混成チームことに座り交流を図りました。

ゲームでは、土建青年部や若手が活躍、カラオケも飛びだし、あつという間の交流会でした。

(草加八潮地区労発)

て、参加者全体がバーベキュー場で交流する予定です。

参加費は大人1000円、小学生以下500円です。

連絡先は、さいたま地区労へ  
048-8333-8589

## 中南部地区協行事のご案内

埼玉連中南部地区協、さいたま地区労次世代異業種交流会が共催

で11月17日(日)に次世代キックオフ行事を千葉県野田市の清水公園で行います。6月に東部地区協

も次世代キックオフ行事を実施した会場です。

午前10時に公園内バーベキュー場に集合、アスレチックかアークベンチャー(1つ選択)で交流し

# 10月から最低賃金改定 各地で周知宣伝のとりにくみ

## 【真の宣伝】

新しい最低賃金額を伝える埼玉連の「最賃周知宣伝」を、10月2日(水) 17時30分から川口駅東口で開催し、6団体20名が参加しました。

今回の宣伝は、地元の川口地区労からも6人が参加し、元気にアピール。横断幕を見て「最賃上がったんだよね」と会話する若者や、開始早々に署名机に駆け寄り書き、「がんばってください」と声をかけてくれる女性など、反応は上々で、チラシやティッシュ

## 【蕨地区労協】

蕨地区労協は最賃駅頭宣伝を9月17日、17時30分から蕨駅西口で行ない、3団体5人が参加しました。

「10月から埼玉は時給1078円になること、それでも生活するには程遠い額であること」を訴え、「今すぐ最低賃金1500円に引き上げ、地域間格差をなくせ、非正規差別なくせ」と佐藤議長がマイクを持ってアピールしました。参加者はプラスタを片手

に、最賃を知らせるチラシとティッシュを配りました。

## 【春日部労連】

春日部労連は、9月26日に最賃宣伝を行っています。今の最賃について思うことは、来月から最賃が50円上がったも、東京との格差が85円と今年と変わらない格差があり、埼玉の最賃(10月から1078円)で、標準的な年間の労働日数(月150時間)で計算すると、約160万円となります。今の高物価の中では生活できない水準です。

2024年10月3日(木) 第28号

### 最賃署名・生計費調査とくみ推進ニュース

集約目標 全国一律最賃署名10万筆(10月~25日2月)  
要求前進へ 対話を広げ、仲間とともに目標数をやりきろう!  
発行：埼玉連最賃公約適正化委員会 電話 048-838-0771

#### 最低賃金「50円引き上げの1078円」でも低すぎる

◆10月1日にあった最賃額を周知する宣伝を浦北労連・蕨地区労協が開催

9月13日(金)夕方、浦北労連は北本駅で、10月から埼玉連の最低賃金が1078円に引き上げられることを周知する宣伝行動を4団体が参加して行いました。(写真右)。また、全国一律最低賃金の引き上げを求めました。

浦北労連の宣伝行動は、毎月取り組んでいます。「物価の高騰の影響で労働者・国民の生活は大変です。中小企業で働く人や医療、介護、教育、保育、福祉などのケア労働者、自営労働者など全ての労働者の賃上げが必要です」「全国一律最賃制をつくり、時給1500円の声をあげよう」と呼びかけ、「労働問題でお困りの時は埼玉連に相談してください」とチラシを配りました。

蕨地区労協は最賃駅頭宣伝を9月17日、17時半から蕨駅西口で行ない、3団体5人が参加しました。(写真左)。10月から埼玉は時給1078円になること、生活するには程遠い額。今年で最低賃金1500円の引き上げを、地域間格差なくせ、非正規差別なくせと佐藤議長がマイクを持ってアピールしました。参加者はプラスタを片手に、最賃を知らせるチラシとティッシュを配りました。

埼玉連の「最賃周知宣伝」は、10月2日(水) 17時30分から川口駅東口で開催し、6団体20名が参加しました。地元川口地区労からも6人が参加し、元気にアピール。横断幕を見て「最賃上がったんだよね」と会話する若者や、開始早々に署名机に駆け寄り書き、「がんばってください」と声をかけてくれる女性など、反応は上々で、チラシやティッシュを配りました。

#### 最低生計費「価格調査」がまとまり、分析・会見へ

9月25日(水)と27日(金)の2日間、最低生計費調査の「価格調査」にとりくみました。今回、訪問したのは「ユニクロ」「イトーヨーカドー」「イオン」内の各店舗です。参加者は、埼玉新聞の伊藤さん(写真左の左)、埼玉連の木村さん(写真右)、埼玉連から藤井事務局次長、龍尾幹事の3人です。同じ持ち物でも女性と男性ではこだわりの部分が少ない、金額に違いが出てきたのは特徴的です。「ユニクロの商品は品質が良く、若より高くブランド化していると感じた」「こだわりの商品は品質も高く、女性から声がありました」。今回の結果をもとに中澤一准教授のもとで分析がすすまられています。結果は、今月下旬に出され、記者会見を行う準備をすすめています。

【最低生計費調査結果 記者会見予定日】  
10月31日(木) 15時30分～ 場所：埼玉連階層クラブ

# 最低生計費調査推進ニュース

2024年9月26日(木) 第27号

### 最賃署名・生計費調査とくみ推進ニュース

集約目標 全国一律最賃署名10万筆(10月~25日2月)  
要求前進へ 対話を広げ、仲間とともに目標数をやりきろう!  
発行：埼玉連最賃公約適正化委員会 電話 048-838-0771

#### 「思ったより、上がってる…」価格調査で改めて実感

◆最低生計費調査に必要な価格調査を実施

9月23日(月・祝)、14時30分からの2時間、最低生計費調査に必要な価格調査のために店舗へ出かけました。今回協力を受けたのは、『ニトリ』と『洋服の青山』です。参加したのは、医労連の永島さん(写真左)、コープネットグループの藤田さん(写真右)と埼玉連事務局の龍尾幹事の3名です。急遽、全労連から「最賃学習動画」作成のために協力を求められ、日本電波ニュースから青年1名もメンバーを募集し、調査に参りました。

9月7日の合同形成会議で設定した「25歳男性・女性」で「年収は一時含め329万円」の設定を念頭に、今回の生計費モデルを「大卒で就職して3年目」としての、「各一人暮らしを始めるイメージ(上記写真)」で家財物を調査しました。

寝具やカーペットなどは、日常的に頻りに購入するものではないので、わかりにくいですが、お値打ちな印象のある『ニトリ』でも、寝んやコップなど身近なものも、『思ったより、高い』と参加者。この間の物価高の影響は、食材などに強く感じている。「もの購入の際に、百貨ショップなど激安店の活用場面も多くなる」と感じがありました。

アンケートを丁寧に調査する時間がかかるため、あつという間の2時間でした。価格調査では、品目によって向く店舗を変えています。電気製品や洋服の購入については同日(9/25、9/27)で改めて調査をおこなっています。

#### ◆「最賃50円引上げで生活できる？」 春日部労連が最賃宣伝

来月から、最賃が50円上がったも、東京との格差が80円と今年度と変わらない格差が生まれています。埼玉の最賃(10月から1078円)で、標準的な年間の労働日数(150時間)で計算すると、約160万円となります。今の高物価の中で生活はできません。

30年間、賃金が上がらなくなった状況の中、今年も「過去最高の引き上げ額」と岸田政権は自画自賛していますが実質賃金では、20数%の高引上げを勝ち取っています。日本でも、『この国が示した基準では、生活が成り立たない』と、最賃額を目安に引き上げを求めた地方が多数あり、地方から全国一律最低賃金制度を求める声が大きくなってきています。(春日部労連機関紙「スクラム」より抜粋、9月26日の宣伝のようす)

【最賃・労働規制宣伝日誌】  
10月2日(水) 17時30分～18時30分 場所：川口駅東口 須川口地区労のみなさん合流を!

30年間、賃金が上がらない国になつてしまった状況の中、今年も「過去最高の引き上げ額」と岸田政権は自画自賛していますが実質賃金は今年も下がっています。他の国では『物価の高騰に見合う賃金を』という闘いで、20数%の高引上げを勝ち取っています。日本でも、『この国が示した基準では、生活が成り立たない』と、最賃額を目安に引き上げる答申をした地方が多数あり、地方から全国一律最低賃金制度を求める声が大きくなってきています。

9月23日(月・祝)、最低生計費試算に必要な価格調査のために店舗へ出向きました。今回協力をしてもらったのは、『ニトリ』と『洋服の青山』です。

参加者は、医労連の永島さん、コープネットグループの藤田さんと埼玉連事務局の龍尾幹事の3名です。急遽、全労連から「最賃学習動画」作成のために協力を求められ、日本電波ニュースから青年1名もカメラを持参し、調査に同行しました。

9月25日(水)と27日(金)の2日間は、『ユニクロ』『イトー

ヨーカドー』『イオン』内の各店舗で、参加者は埼玉新聞の伊藤さん、埼玉土建の木村さん、埼玉連から諸井事務局次長、渋谷幹事、龍尾幹事の3人です。

同じ持ち物でも女性と男性では、こだわる部分が少ない、金額に違いが出てきたことは特徴的です。「ユニクロの商品は品質が良く、昔より高くブランド化していると感じた」「こだわりのあるものは予算オーバーしても支払うけど、重視していないものは百貨ショップでもいい」など、参加者から様々な声がありました。



# 男女平等の労働環境めざし 埼玉連女性部 第35回定期大会

埼玉連女性部は10月20日(日)午後1時30分から、さいたま共済会館で第35回定期大会を開催し、代議員22人、来賓など総勢37人が参加しました。



37人が参加

大会では、新年度方針と、全労連女性部が2025年4～6月に実施する「女性労働者の健康・労働実態及び雇用における男女平等調査」「妊娠・出産・育児に関する実態調査」に、幅広く働きかけて取り組むことを確認。北村明子部長(再・埼玉医労連)はじめ新

年度役員を選出しました。討論では、「現在全国で30万人の子ども達が不登校。妊娠中や子育て中の教員でさえ、長時間過密労働。防衛費が文教費よりも多く予算化されているのもおかしい」と組合と声を上げよう(埼玉教組)、「医療現場を知らない政府が誤った医療・介護報酬を押し付け、賃金が上がらない。介護がビジネスになっていくところもあり、経営が成り立たないと経営者が夜逃げする事業所も。現場では7割が女性、また3割以上が技能実習生を受け入れている。数年で国に帰る人材に頼る状況は後継者も育たない(医労連)」、「5～6月にかけて最低生計費調査に300人以上で取り組んだ(コープネットグループ労組)」、「女性部を引き継ぎ、男女共同推進委員会を設立している。女性の組合員が6割以上だが、女性役員が増えないのが悩み。会計任用職員など組合に相談せずに退職してしまうことがあるのではないか。蓮田市

は女性市長で、管理職が40%を超えたことを自治体訪問の調査で確認することができた(自治労連)、「学童指導員の人員不足が重大。新座と所沢学童のお昼の交流会を復活させることから、女性部の交流を再開させたい(建交労)」、「現役時代の収入格差が年金支給額に反映されている。男女の生涯格差1億円以上が影響する女性の低年金がやっとな問題視されてきた。国連の勧告も政府は応えず、年金者組合もジュネーブのILO日本審議へ2名代表を派遣した(年金者組合)」、「就職氷河期でやっとな就職できた職場で複数のパワハラを受け、人事課に訴えたが逆に人格を否定するような発言をされた。裁判に訴え闘っているので支援を。埼玉県内では職場をランク付けしているが、ランクが高くてハラスメントがある職場が存在する。そのような職場を変えるにはどうすればいいか。組合に何ができるか考えたい(埼玉ユニオン)など、各組合の取り組みが報告されました。大会終了後は、浦和駅東口で宣伝行動を実施しました。

## 埼玉県労働委員会の紹介

「解雇・雇止め」「労働条件の不利益変更」「パワハラ」「団体交渉拒否」など職場で困ったことはありませんか。あつせんは労働組合だけでなく個人でも申請できます。手続きは簡単・無料です。詳しくは埼玉県労働委員会事務局にお問合せ下さい。

「解雇・雇止め」「労働条件の不利益変更」「パワハラ」「団体交渉拒否」など職場で困ったことはありませんか。あつせんは労働組合だけでなく個人でも申請できます。手続きは簡単・無料です。詳しくは埼玉県労働委員会事務局にお問合せ下さい。

あつせんは労働組合だけでなく個人でも申請できます。手続きは簡単・無料です。詳しくは埼玉県労働委員会事務局にお問合せ下さい。

あつせんは労働組合だけでなく個人でも申請できます。手続きは簡単・無料です。詳しくは埼玉県労働委員会事務局にお問合せ下さい。

あつせんは労働組合だけでなく個人でも申請できます。手続きは簡単・無料です。詳しくは埼玉県労働委員会事務局にお問合せ下さい。

あつせんは労働組合だけでなく個人でも申請できます。手続きは簡単・無料です。詳しくは埼玉県労働委員会事務局にお問合せ下さい。

労働者と使用者の  
**トラブル解決を  
お手伝いします!**

解雇、雇止め、パワハラ、団体交渉などで困っていませんか?

- 手続簡単
- 無料
- 秘密厳守

お問合せ先  
埼玉県労働委員会事務局  
TEL: 048-830-6452・6455  
FAX: 048-830-4935  
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県庁第三庁舎4階



# 丸大食品

## ギフト幹旋

今年も丸大食品の冬ギフトを市価の20〜30%引きで取り扱います(注文には送料が別途かかりません)。

注文書付きのチラシから直接申し込んでください。

各組合にチラシを発送しますので、届いたその日から12月6日(金)までが取り扱い期間となります。

お問い合わせは埼労連まで  
048-8338-0771

11月の上映案内  
11月の上映は過去にも上映した「新聞記者」です。

官邸とメディアの裏側を描く、東京新聞記者である望月衣塑子氏原案のサスペンス・エンタテイメント作品です。ジャーナリストの田原総一朗氏は「面白い!! よくぞ作った! 新聞記者と上層部の関係、官僚機構の構造がよく分かった」と評しています。

第43回日本アカデミー賞で、最優秀作品賞、最優秀主演男優賞(松坂桃李)、最優秀主演女優賞(シム・ウンギョン)の3冠に輝いた映画です。  
日時 11月28日(木)  
場所 埼玉会館小ホール



① 10時30分  
② 14時  
③ 18時30分  
\*埼労共専用当日精算券のご利用の場合900円です。

# 全労連共済・秋の共済推進キャンペーン

秋の組織拡大月間にあわせて全労連共済では「共済推進キャンペーン」に取り組みます。

11〜12月の2か月が対象期間です(申請は1月末まで)

キャンペーンの対象となる共済は、全労連共済の「生命共済」「医療共済」「緩和医療共済」「交通災害共済」「シニア生命共済」「シニア医療共済」「火災共済」「セット共済」「自動車共済」「年金共済」です。

詳しい内容は、全労連共済加盟の各組織本部共済担当者にお問い合わせください。

組員へ	対象内容	摘要	
クオカード 1000円分	・自動車共済の新規加入 (他社からの掛け替え含む)	1台1件	
	・火災共済の新規加入または増口 (10口以上)		
	・セット共済の新規加入		
クオカード 500円分	・自動車共済の見積もり (すでにキャンペーンを受けた車両は除く)	1台1件	
	・「生命」「医療」「緩和医療」「交通災害」「シニア生命」「シニア医療」「年金」の新規加入		
	単産組織へ		
	・単産ごとに上記の契約5人ごと (自動車共済は除く)		1台1件
・自動車共済は見積もり10件ごと			

日程が変更になりました

無料 福祉共済セミナー

共済(保険)と投資どう違う?  
~年金共済は若者の味方~

12/2

19:00~20:30 完全オンライン

講師 美光 可奈さん

埼玉労働者福祉共済会(埼労共) 048-838-0771

◆共済(保険)と投資どう違う?  
〜年金共済は若者の味方〜  
日時 12月2日(月)  
19時〜20時30分  
完全オンラインです。  
ID・98608282902  
パスワード・130707  
※どなたでも参加できます

「年金共済」を考える  
福祉共済セミナー  
のご案内  
10月26日に予定していましたが、総選挙日程を鑑み、延期および完全オンラインでの開催と変更しました。  
参加を予定されていた方、急な変更でお詫びいたします。  
(※同日の埼労共総会も延期になりました、詳細はお問い合わせください)